

1カ月になります。自民 ポジウムに出席。「今はを支援し立てているの。あり方を見直す」三位を党を離れてみて、「党の仕事を」

自民離れて1カ月…今、感じること

自分を醸成する期間とは、こういう堪忍や辛抱、人の眼につかず、名刺もあられないところ、働いている力なのだ。最近、同僚の薦めで読んだのが山本周五郎の時代小説「樅ノ木は残った」。長いけれども、気案は成立、私自身は党を

忙殺されていた自分に気が付かされました。かつては党本部で毎朝8時から開かれる「部会」(省庁やテーマ別の党内政策立案の場所)を何件もはしりました。党務の一環で先輩や同僚に励んでいます。最近、同僚の薦めで読んだのが山本周五郎の時代小説「樅ノ木は残った」。長いけれども、気案は成立、私自身は党を

5%増の25万4066円、所定外給与が0.1%減の1万9147円だ。は1.1%増、パートタイムは0.5%減だった。の流れを感じています。新人83人を得て変質したといわれる自民党とは別なところで、保守立て直しの新しい動きが始まってもおかしくはありません。(衆院議員) 毎週水曜日レギュラー掲載



♡♡3♡♡

ペットフード工業が調べによると、今や愛犬の6割以上が室内で飼われているという。そこで、よりの快適でストレスのない住環境を整えてあげようと思う飼い主も増えて

「発売当初は『本当に売れるのか?』と手探りだったが、いち早くペット対応を謳ったイメージもでき、今や部分的に取り入れてもらえることも増え、すっかり好評をいただこうになった」(帯屋課長)という。

一戸建てから共生を実現

旭化成ホームズでは5年前、愛犬と飼い主の共生住宅を実現するために、「ハーベルハウス プラスわん」の発売を始めた。同社広報室の帯屋博義課長は「ペット自身も快適で、飼い主さんにとっては楽に世話がで

「発売当初は『本当に売れるのか?』と手探りだったが、いち早くペット対応を謳ったイメージもでき、今や部分的に取り入れてもらえることも増え、すっかり好評をいただこうになった」(帯屋課長)という。



人気も、犬気も上々

て接している人が増えてきたなか、ペット可とい

「犬をパートナーとし、愛犬とも快適に住める」

「犬をパートナーとし、愛犬とも快適に住める」

階段下のスペースを利用した「犬間」は、愛犬が落ち着きたい時や眠りたい時の、隠れ家にもなる「ハーベルハウス」プラスわん

産経Net View

使いやすい改良 あすから

産経新聞社は、インターネットによる電子新聞サービス「産経Net View(ネットビュー)」を12月1日付紙面の配信から、操作しやすく、読みやすいように改良します。

改良するのは①ページをめくったときに表示倍率が必ず25%表示で始まる従来の仕組みを見直し、表示倍率をそのまま変わらないように変更②ウィンドウ系のパソコンで、紙面の拡大縮小や上下左右移動(スクロール)を新たにマウスホイールで操作できるようにする③2点です。これにより、ページめくりから拡大縮小、紙面移動までの基本的な動作が、ぐっと手軽になり、読みやすくなります。

産経Net Viewは月額315円(税込)です。説明やお申し込みの受け付けは、ホームページ(www.sankei.co.jp/netview)まで。